

第41回

愛知県中学生柔道選手権大会

審判監督会議資料



令和7年5月3日（土・祝）

愛知県武道館 第1競技場

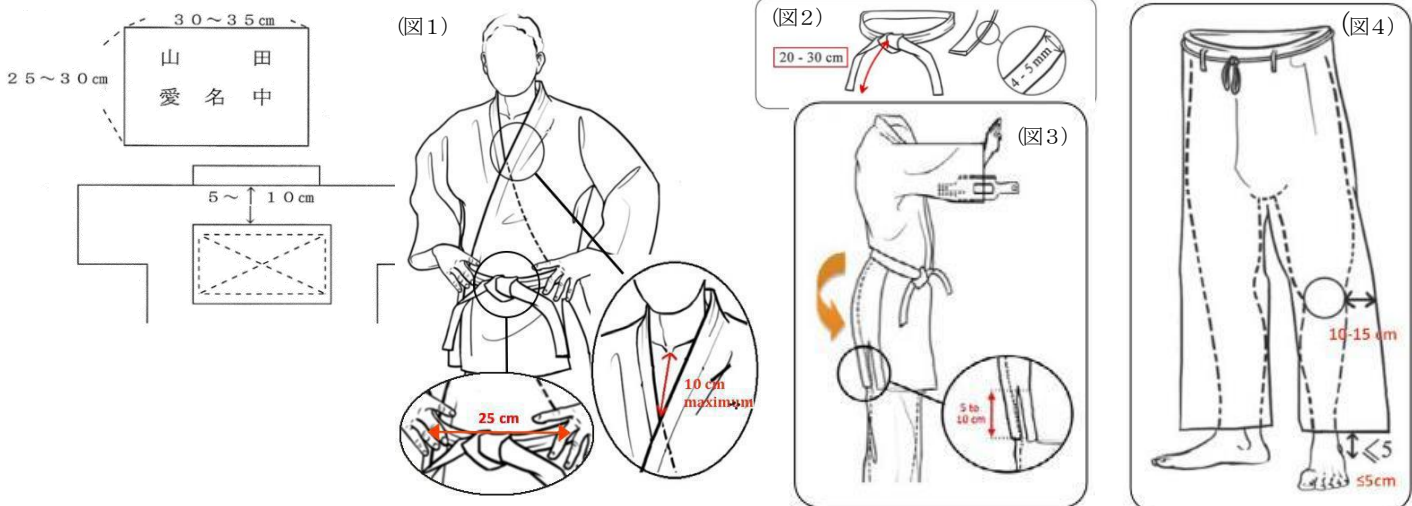
第41回愛知県中学生柔道選手権大会

審判監督会議

1. 中学部会会長あいさつ 仲田昌弘 会長（豊川市立赤坂小学校）
2. マット・タターの紹介 はるひ呼吸器病院 服部良信 先生
豊橋市民病院 石川凜太郎 先生
3. 救護員の紹介 愛知県柔整復師会 生駒慎二 先生・黒氏憲 先生
4. 受付場所、計量会場・計量時間、ウォーミングアップ、試合会場、柔道衣コントロールについて
 - (1) 受付場所・受付時間
 - ア エントランスコート、8時45分～
 - イ 「コーチ確認書」の提出
 - ウ 監督・コーチヘリストバンドの配付
 - (2) 更衣
 - 8時45分～9時
 - ・場所 第1競技場観覧席（女子は女子更衣室も使用可）
 - (3) 計量会場・計量時間
 - 9時～9時30分
 - (4) ウォーミングアップ
 - 9時30分（予定）～9時50分 大会本部の指示により、各試合会場にて練習開始
 - (5) 試合会場
 - 終日 第1競技場
 - (6) 柔道衣コントロール
 - 開会式終了後すぐに各試合場で実施
5. 審判（監督）打ち合わせ 村松 秀樹 審判長
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」による。
 - ① 試合時間は、3分間とする。3回目の「指導」が与えられた時点で「反則負け」とする。抑え込みのスコアは、有効5秒、技有10秒、一本20秒とする。
 - ② 任意の選手によって行われる団体戦の代表戦は、「一本」「技有」「有効」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。直接もしくは累計による「反則負け」を除き、「指導」（1回目）の違いだけでは勝者は決定しない。「指導」は、相手のスコアにならない。
 - ③ 団体試合の個々の試合の優勢勝ちの判定基準は、技の評価は「有効」以上とするが、技の評価が同等の場合、「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下の場合、「引き分け」とする。代表戦は、任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とする。**今大会は、代表戦のゴールデンスコアを行わない。代表戦の試合時間3分の後、旗判定で勝敗を決する。**
 - (2) 試合方法
 - ① トーナメント方式とする。
 - ② 勝負は、勝数の同じ場合は、内容により決定する。（①「一本」・「反則勝ち」②「技有」③「有効」④「僅差」）内容も同じ場合は「引き分け」とし、任意の選手による代表戦を一回のみ行う。
 - ③ チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。
 - ④ 選手の交代は、届出の補欠をもってあてる。この場合も、順次体重順の編成とする。いったん交代した選手は、再び出場できない。

(3) 柔道衣コントロール

- ① 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。
ア、上衣・下穿きは、IJFロゴ(赤)またはJU0000/JUB000の赤文字ラベルのもの
イ、帯は、IJFロゴ(赤/青)またはJU000の赤文字/黒文字ラベルのもの
- ② ゼッケンの着用 ※下記の図参照
柔道衣背部にゼッケン(チーム名・名字入り)を着用
ウ、布地は白色(晒、太綾) ② サイズは 横 30~35 cm 縦 25~30 cm
エ、名字(姓)は 上側 2/3 ④ チーム名 下側 1/3
オ、書体は太字ゴシック体(明朝、楷書でもよい) 男子は黒色、女子は濃い赤色
カ、縫い付けの場所は、後ろ襟から5~10 cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- ③ 柔道衣の大きさ ※下記の図参照。2025年度までは移行期間とし、日本中体連柔道競技部からの通知に従う。
キ、胸骨上部頂点から襟の交差部が10cm以下、上衣を前で重ねた下襟の距離が25cm以上(図1)
ク、帯の結び目から端が20~30cm(図2)
ケ、袖の長さが腕を真っ直ぐに伸ばして掌で三角形を作った状態で、手首の骨を含めて腕全体が覆われる長さ
コ、上衣が前後同等の長さでお尻を完璧に覆っていて、帯からの長さが階級の規程に合っている
(73kg以下の階級:20cm以上/73kg以上の階級:25cm以上)(図3)
サ、下穿きの長さは、裾口からくるぶしの外側までの距離が5cm以下、幅は膝の位置で10cm~15cm(図4)
- ④ 女子選手のTシャツ
シ、色は白(透けない)、半袖、丸首
ス、製造業者のマークは最大30cmで柔道衣着用時に見えないもの
セ、所属名称や所属エンブレムを左胸につけることは認められ、最大100cm²



(4) その他申し合わせ

- ① 各試合審判団で3人の審判員によって進める。ただし、決勝戦は1人の審判委員を加える。
- ② 医師と整復師の先生で、救護係を行う。
- ③ 各試合場、審判団に従い、準決勝戦まで行う。(3位決定戦は行わない)
- ④ 同所属の試合は審判団から外れる。
- ⑤ 決勝戦の審判団は、放送にて連絡します。
- ⑥ 審判ローテーションを行う。〔男子2・2・1、女子1・1・1〕
- ⑦ 直接または、累積の「反則負け」及び、延長戦での勝敗が決まる「指導」では、原則、合議する。
- ⑧ 技の判定が2段階以上の差がある場合(「一本」と「ノースコア」)は、原則、合議する。
- ⑨ 審判員は、試合の始めと終わりの開始線での「礼」を厳しくコントロールする。
- ⑩ 監督・コーチの服装は、審判員に準ずるものを原則とする。
- ⑪ 審判に対して、監督・コーチからの抗議は認めない。
- ⑫ 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を適用する。
- ⑬ 「脳震盪対応について」を適用する。
- ⑭ 貴重品の管理は自己責任とする。

6. 国際柔道連盟試合審判規定(2025. 4. 1 施行ルール)及び国内における「少年大会特別規定」(2022. 4. 1 施行ルール、2024. 4. 1 一部変更)において、**本大会では申合せ事項として以下の点を採用する。**

(1) 技の判定について

「有効」※新ルール適用

(2) 場外に出る行為

「指導」①立ち技で組まないで場外に出る②寝技ではって場外に出る。※新ルール適用

(3) 逆背負い投げ(通称)

「待て、指導」※旧ルール通り

(4) 立ち姿勢において、相手の上衣の袖の中に指を入れて組み手を取った場合

直ちに「待て、指導」※旧ルール通り

(5) 寝姿勢において、相手の袖・下履きの裾の中に指を入れた場合

直ちに「待て、指導」※旧ルール通り

(6) ダイビングヘッド

「反則負け」※旧ルール通り

(7) ユージングザヘッド

「待て、指導」※新ルール適用

(8) ヘッドディフェンス

「待て、指導」※新ルール適用・ブリッジは従来通り「一本」